

2024 年度 事業報告書

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日

Outline

2024 年

- 6 月 上海市政府外事弁公室を訪問して周所長らと面談
- 7 月 知事戦略部地域外交課長が上海市政府外事弁公室を訪問
周所長と地域外交課長が面談
- 11 月 上海市監察委員会一行が県庁表敬訪問（県監査委員事務局対応）
- 12 月 食文化交流事業「焼きまんじゅうと中国茶」を開催・上海 TV 放映
上海交通大学と群馬大学との交流事業オンラインミーティング実施

2025 年

- 1 月 上海市商務委員会招待で中国人民政治協商会議上海市第 14 回委員会
第 3 回会議出席
- 2 月 上海交通大学×群馬県(群馬大学)交流事業実施
- 3 月 知事戦略副部長が上海市外事弁公室を訪問して叶副主任と会談
知事戦略副部長が上海市実験学校東灘高級中学を訪問して袁校長と会談
群馬県と尾瀬高校連名による交流事業ウェルカムレターを手交



公益財団法人群馬県産業支援機構上海代表処
(群馬県上海事務所)

事務所活動の沿革

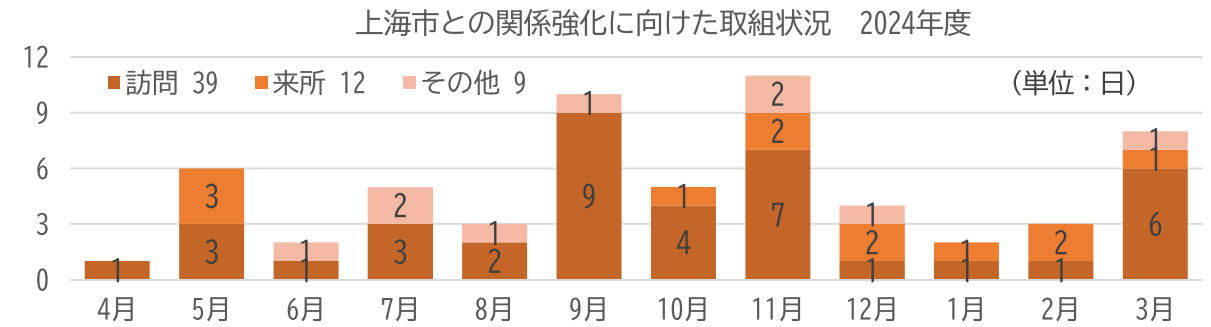
群馬県は 2012 年 3 月に「群馬県国際戦略」を策定して、翌年 4 月に同戦略推進のための海外拠点として群馬県上海事務所を設置した。香港やマカオを含む中国での群馬県の経済的地位を向上させるため、観光誘客、群馬県産品販路拡大、群馬県内企業のビジネス展開支援、群馬県情報の発信の 4 つを主要な業務として活動を開始した。

その後は、2020 年頃の新型コロナウイルス感染症のパンデミック相当の影響を受けて、地域外交の基礎となる海外との往来が制限されるようになると従来からの取組が困難となった。そのため、2020 年 12 月に戦略を見直して事務所運営の方針転換が図られた。

現在は、新たに策定された「地域外交の基本方針」の下で、①世界を見据えた上海市との関係強化、②ハイレベルな人脈構築、③新たな富を生み出すチャンスを掴む の 3 つのミッションに取り組んでいる。

主な活動成果

- 7 月の知事戦略部地域外交課長と上海市政府外事弁公室アジア大陸処長との面談や 3 月の知事戦略副部長と上海市政府外事弁公室副主任（副局長）との会談を通じて、上海市政府との友好関係の構築が図られた。
- 2 月に上海交通大学と群馬県の大学との学生同士の交流を図るため、上海交通大学の学生を群馬県に招待して 3 泊 4 日の行程で群馬大学の学生とグループ活動を行い、県内企業への訪問や県内在住中国人との意見交換などを行いながら交流を深めた。
- オンラインでの交流実績がある尾瀬高校と上海市実験学校東灘高級中学とのリアル交流事業を両校に提案して了承され、2025 年 7 月に尾瀬でのフィールドワークを通じた交流事業を実施することを決定した。



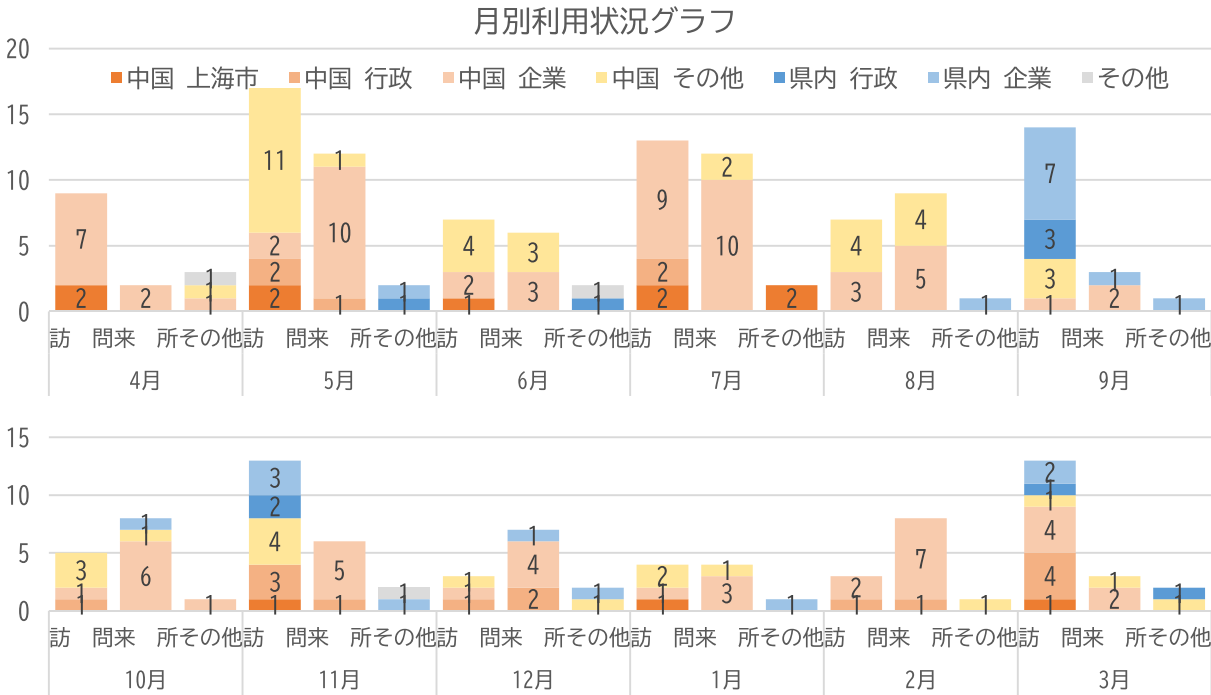
事務所利用状況

2024 年度の群馬県上海事務所の利用状況は、訪問件数 108 件、来所件数 80 件、その他（オンライン等）20 件で合計 208 件であり、利用人数は合計で 387 人であった。

訪問・来所等の主な相手方は、上海市政府外事弁公室や上海市商務委員会、上海交通大学、上海実験学校東灘高級中学などの上海市関係や JNTO や JETRO、CLAIR など国関係機関の現地拠点のほか、旅行会社や小売業者、各自治体事務所などであり、上海市との関係強化を活動の中心としながら、幅広い関係者との交流を行った。

■月別事務所利用状況 （単位：件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
訪問	9	17	7	13	7	14	5	13	3	4	3	13	108
来所	2	12	6	12	9	3	8	6	7	4	8	3	80
その他	3	2	2	2	1	1	1	2	2	1	1	2	20
計	14	31	15	27	17	18	14	21	12	9	12	18	208



業務別の状況

2020 年に策定された「地域外交の基本方針」により、以下の 3 つのミッションの取り組みを活動の重点方針として推進している。

1 世界を見据えた上海市との関係強化

上海市政府外事弁公室を通じた実務者レベルでの交流を継続するとともに、上海市政府や上海市商務委員会などが主催する各種行事やイベント等に優先的に参加することで関係者との交流や情報収集等の機会を増やすことに努めた。

(1) 上海市政府との実務者レベルでの交流促進

■地域外交課長が上海市政府外事弁公室、崇明区を訪問

7月29日に知事戦略部地域外交課長の来海に合わせて上海市政府外事弁公室を訪問して同室のアジア大陸処長の周國榮氏らと面談を行った。

【面談概要】

地域外交課 奈良課長

- ・尾瀬高校と上海実験学校東灘高校のリアル交流の実現に向けた支援依頼
- ・県部長級の来海の可能性について

上海市外事弁公室 周処長

- ・部長や副部長による実務者レベルの来海歓迎
- ・上海実験学校東灘高中と尾瀬高校とのリアルな交流の実現に期待
- ・崇明区と県内市町村との交流に言及

また、上海市崇明区政府外事弁公室を訪問して陳海広副主任らと面会した。

【面会概要】

上海市崇明区人民政府外事弁公室 陳副主任

- ・今後も相互の交流が継続していくことを期待

【関係者】

上海市人民政府外事弁公室：周國榮 処長、沙刘勇 副処長、陈怡（3名）

崇明区人民政府外事弁公室：陳海広 副主任、龚敏子 外事課副課長（2名）

知事戦略部地域外交課：奈良課長、村松係長、県上海事務所（5名）



■知事戦略副部長が上海市政府外事弁公室副主任と面談

3月24日に知事戦略副部長が上海市政府外事弁公室を訪問して叶靚 副主任らと面談を行った。面談後は上海市側の招待で会食が行われた。

【面談概要】

上海市外事弁公室 叶副主任

- ・実務者レベルの交流を歓迎する
- ・上海市実験学校東灘高中と尾瀬高校とのリアル交流の実現に期待

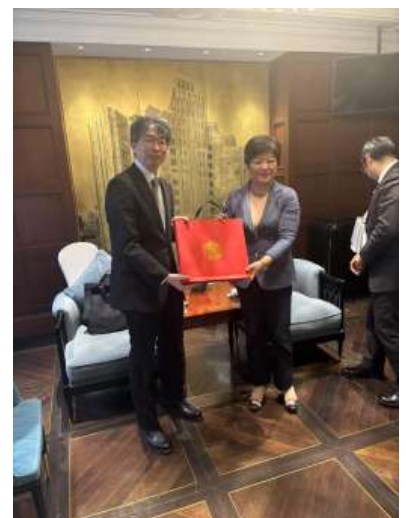
知事戦略部 永井副部長

- ・2025年7月尾瀬サマーキャンプ事業実施予定
- ・6月下旬頃に県部長級の来海希望

【関係者】

上海市人民政府外事办公室 叶靚 副主任、周國榮 処長、王娅茹（3名）

群馬県知事戦略部 永井副部長、地域外交課 三枝主任、県上海事務所（5名）



■上海市幼児教育関係者の来県対応

7月23日～24日に上海市幼児教育関係者が群馬県庁を表敬訪問して意見交換を行ったほか、県内の幼児教育関係施設を視察した。主務課による関係課との調整や当日の設営・司会進行のほか幼児教育関係施設の視察調整等の対応により、事業は円滑に実施されて上海側と県内側の関係者間では活発な意見交換等が行われた。

【関係者】

上海市托幼協会副会長 周洪飛
同市各管轄区幼児教育課課長ほか
(17名)

生活こども部 國代副部長
こども・子育て支援課 布見課長
知事戦略部 永井副部長
地域外交課 奈良課長 ほか

【視察先】

- ①前橋市立下川淵保育所（公立）
- ②ろっく ひよこプリスクール
(私立幼保連携型認定保育園)



■上海市監察委員会の来県対応

上海市政府外事弁公室から依頼があり、上海市監察委員会の群馬県庁表敬訪問事業について、主務課及び県庁関係所属と実施内容等の調整を行った。

11月25日の事業当日は、上海市監察委員会一行が群馬県庁を表敬訪問して関係部署との意見交換を行ったほか、県関係施設の視察等を行った。県監査委員事務局による事前準備や当日の設営・進行等により円滑に実施され、上海市側と群馬県側の関係者間では友好的に意見交換等が行われた。

【関係者】

上海市監察委員会副主任 楊慧亮、同副秘書長 戴涛ほか3名（全5名）
監査委員事務局 高橋事務局長、大橋課長、市川次長、瀬戸川係長 ほか

【視察先】 Gメッセ群馬（eスポーツ・クリエイティブ推進課対応）、大門屋



■「焼きまんじゅうと中国茶」を体験する食文化の交流会を開催

12 月 13 日に上海市商務委員会や上海交通大学、JNT0 上海事務所、各自治体事務所、上海市内の企業等 20 名を招待して「焼きまんじゅうと中国茶」を体験する食文化の交流事業を開催した。参加者には、焼きまんじゅうの試食と専門の講師が淹れた 3 種類の中国茶（白茶、烏龍茶、紅茶）を飲み比べてもらい、焼きまんじゅうと合うお気に入りの組み合わせを選んで投票するなど、群馬県と中国の食文化を楽しみながら学んでもらった。

事業の様子は上海テレビの番組で放映されたほか、微信（WeChat）でも紹介されるなど、今までにはない企画内容と参加者同士の交流を深められたと好評だった。



■上海市商務委員会の招待で人民政治協商会議上海市第 14 回委員会第 3 回会議に出席

1 月 14 日（火）上海市商務委員会から招待を受けて、中国人民政治協商会議上海市第 14 回委員会第 3 回会議に出席した。上海商務委員会によれば、同会議に出席できることは特別な栄誉であり、商務委員会としても普段はなかなか出席する機会がなく、今回招待された日本の自治体は、本県の他には上海市と友好都市提携している横浜市と大阪市のみであった。



（2）中国国内の高等教育機関等へのアプローチ

■上海交通大学と群馬大学の学生同士のリアル交流事業を実施

上海交通大学と群馬大学の学生同士が相互理解と友好交流の機会を創出することを目的にした交流事業を実施した。両校の学生が 2 名ずつ 4 名 1 組のグループを 3 組編成（計 12 名）して、3 泊 4 日の行程で群馬県内を巡り、企業訪問や在住中国人との意見交換などのグループ活動を行い、群馬県に対する理解を深めながら学生同士の交流と友情を深めることが出来た。

本事業は上海テレビが同行取材を行い、中国国内のテレビ番組やネットチャンネル等で広く放送された。

【参加者】上海交通大学及び群馬大学の学生各 6 名のほか引率教員等

【日 程】2024 年 2 月 12 日（水）～15 日（土）：3 泊 4 日 群馬県内



■上海市実験学校東灘高級中学と群馬県立尾瀬高等学校との交流事業を企画提案

上海市実験学校東灘高級中学と群馬県立尾瀬高等学校との交流は、上海市人民政府外事弁公室と崇明区人民政府外事弁公室の仲介により、「環境保全」をテーマに 2022 年から交流が始まり、同年 3 月と 2024 年 3 月にオンライン交流を行った。

その後、上海市政府外事弁公室と上海市実験学校東灘高級中学から両校の相互訪問によるリアル交流に対する強い期待感が示されたため、2024 年度に群馬県上海事務所が交流事業の企画・提案を行い、2025 年 7 月に上海市実験学校東灘高級中学が群馬県を訪問して交流事業を実施することが上海市政府外事弁公室や両校関係者間で了承された。

■知事戦略副部長が尾瀬交流事業のウェルカム特使として上海市実験学校を訪問

3 月 25 日に知事戦略副部長が上海市実験学校東灘高級中学を表敬訪問した。

袁万萍校長と面談した際に尾瀬高校と群馬県の連名のウェルカムレターを手渡して、今年 7 月に実施する尾瀬サマーキャンプ交流事業について歓迎の意を伝えた。

【関係者】

上海市実験学校東灘高級中学

袁万萍 校長、学生発展処 王紅（2 名）

知事戦略部：永井副部長

地域外交課 三枝主任、県上海事務所（5 名）

【交流事業の実施計画について】

実施時期：2025 年 7 月 29 日（火）～8 月 2 日（土）4 泊 5 日

事業概要：両校 10 名ずつの生徒と一緒に尾瀬でのフィールドワークを通じた交流事業を実施。上海 TV による同行取材と番組放映を予定。

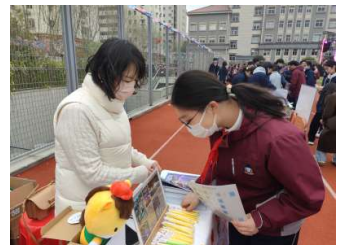


■上海市甘泉外国語中学で日本語学習成果発表会“群馬杯”開催

3 月 19 日に上海市甘泉外国語中学が毎年開催している日本語を学ぶ学生たちによるコンテスト形式の成果発表会が開催された。

2023 年度からは友好交流の一環として、群馬県上海事務所がノベルティ等を提供して協賛することで“群馬杯”として開催されている。

事務所職員はコンテストの審査員の 1 人として参加している。“群馬杯”の開催は今年で 2 回目となった。また、3 月 28 日には同校で開催された「桜祭り」の会場で群馬県の観光 PR などを行った。



(3) 今後に向けた課題と方策

上海市政府との実務者レベルでの交流と高等教育機関におけるリアル交流が進展しており、今後はトップ会談を見据えた交流の継続を図りながら関係強化に努める。

2 ハイレベルな人脈構築

上海市に隣接する蘇州市相城区人民政府外事弁公室との交流を継続したほか、日本国領事館や CLAIR 主催事業などの日中双方の関係者が集まる機会等に参加して、必要な人脈構築等を図った。

(1) 地方政府との交流の継続

■蘇州市相城区人民政府外事弁公室との交流

- ・5月23日に蘇州市相城区人民政府外事弁公室の呂主任らが来所して、今後も交流を継続していくことを確認したほか、12月27日に同室職員が来所して相互交流の継続と情報交換等を行った。
- ・また、相城区主催の青少年絵手紙交流イベントへの協力依頼があったため、昨年度に参加実績のある太田市に照会した。

(2) 人脈構築等を図るための会議やセミナー、視察等への参加

■CLAIR 北京事務所主催「日中地域間交流推進セミナー」への参加

- ・8月21日から24日に内モンゴル自治区フフホト市で開催された CLAIR 北京事務所主催「第20回日中地域間交流セミナー」に参加して中国国内各地方政府等との交流を図った。(参加者：中国国内各地方政府、在中国日本自治体事務所等 約220名)

■在上海日本国総領事・大使着任レセプションへの参加

- ・10月23日に在上海日本国総領事・大使就任レセプションに参加して日中各業界代表者との交流を図った。

■上海浦東軟件園滙智科技(有)との意見交換

- ・11月21日に(一社)日中経済貿易中心の羅和慶顧問の仲介で上海浦東軟件園滙智科技(有)との意見交換を行った。同社が経営する上海浦東ソフトウェアパークには日系を含む多くの AI やメタバースなどのデジタル産業分野のスタートアップやアクセラレーター企業が集積しており、後日3月19日に開催された視察会に参加して情報収集等を行った。

■上海市外国投資促進中心主催の交流事業等への参加

- ・上海市関係機関や日系企業、自治体等との連携強化や情報収集等のため、関係機関が主催する各種事業に参加した。

11月15日：上海市外国投資促進中心交流事業

11月27日：上海日本商工クラブ社会事業部会

11月28日：上海日本商工クラブ長寧地域連絡会総会

3月13日：中智日本企業倶楽部主催「智櫻会新春賀詞交歓会」

(中智日本企業倶楽部：中国国営企業。在中日系企業向け人材サービスやサポート事業を実施。)

(3) 今後に向けた課題と方策

上海市関係機関などが主催する各種行事への参加・協力を継続するほか、日本国領事館や CLAIR 主催事業などの日中双方の関係者が集まる機会等を幅広く活用しながら必要な人脈の構築に努める。

3 新たな富を生み出すチャンスをつかむ

(1) 進出県内企業や近隣自治体との連携強化

7月18日：群馬銀行上海駐在員事務所と合同で県内立地企業関係者を訪問

- ・群馬銀行上海駐在員事務所の北爪主席代表と合同で県内立地企業のサンヨー食品(株)が出資する世界有数のインスタント麺製造企業の康師傅控股有限公司の西川財務長室高級顧問を訪問して意見交換等を行ったほか、県関係者の来海等の際には視察先等の協力を依頼した。

■県内立地企業との意見交換等を実施

5月17日：卯三郎こけしとのオンラインミーティングを実施

- ・JETRO 上海事務所から近代こけし（榛東村）のキャラクター商品の中国展開について問合せがあったため、卯三郎こけしの岡本副社長とオンラインで意見交換等を行って同社の意向を確認した。

6月18日：エリー(株)とのオンラインミーティングを実施

- ・未来投資・デジタル産業課から紹介された県内関係企業・エリー(株)（東京都）の梶栗代表取締役らとオンラインで意見交換等を行い、中国蘇州市にある先進的な絹紡糸工場の視察等について相談を受けた。

7月28日：地域外交課長が群馬銀行上海駐在員事務所を訪問

- ・地域外交課長が群馬銀行上海駐在員事務所を訪問して、北爪主席代表から中国進出の県内関連企業の動向等に関して説明を受けた。

9月2日：(株)マエキ（前橋市）来所

- ・(株)マエキの藤生代表取締役社長や小泉海外事業部長、平井総経理（上海）らが来所。中国全土の県内企業を主な顧客として生産設備等の営業・販売等を行う。中国進出県内企業との繋がりがあるため今後の連携や中国における本県のプレゼンス向上への協力等を依頼した。

10月18日：(株)アイザック（高崎市）・東洋リネンサプライ(株)（高崎市）来所

- ・県内立地企業(株)アイザック青木代表取締役と東洋リネンサプライ(株)坂原代表取締役が来所。蘇州市相城区で日本企業向けショーケースの設置や老人ホーム事業への参入等の計画について情報交換を行ったほか、JETRO 上海の支援協力を要望されたため、JETRO 上海事務所担当者に情報提供を行った。

12月2日：(株)アイザック（高崎市）来所

- ・(株)アイザック青木代表取締役が来所して情報交換を行った。

12月16日：日本カーリット(株)（渋川市）上海拠点代表者が来所

- ・日本カーリット(株)上海拠点（佳里多(上海)貿易(有)）の唐澤董事長・総経理が来所して意見交換を行った。

(2) 現地情報の収集と効果的な情報発信

関係機関主催の各種事業に参加（2(2)再掲）して情報収集に努めたほか、上海 TV と連携した取材対応・番組放映により群馬県の PR 等を行った。その他「上海・中国流行報告」を発行して事務所 HP に掲載した。

■上海 TV と連携した取材対応・番組放映

上海を中心とした沿岸地域で高い視聴率を誇り、中国全土でも広く認知されているため中国のテレビ業界で重要な地位を占めている上海テレビと連携した取材対応・番組放映を行った。

8 月 18 日：上海 TV チャンネル「中日新視界」の番組『都道府県所長 CALL』に出演して群馬県を PR した。

12 月 13 日：上海 TV が事務所主催の食文化紹介イベント「焼きまんじゅうと中国茶」取材して「中日新視界」内の番組で放映された。

2 月 12 日-15 日：上海交通大学と群馬県の交流事業に上海 TV が同行取材。2 月 16 日に東方衛星 TV で全国放送されたほか、2 月 22 日から上海 TV「新聞総合」チャンネルで 3 週連続に渡ってスペシャル放送された。



■SNS を活用した情報発信の取組実績

中国人の多くが日常的に SNS を利用して情報収集、コミュニケーション、エンターテインメントなどの活動を行っており、中国独自の多様な SNS プラットフォームが普及している。その中でも特にユーザー規模が大きく影響力が高いとされる微博(Weibo)、微信(Wechat)、小紅書(RED)を活用して定期的に情報発信を行うとともに、旅行博や物産イベントなどへの出展の際にはプレゼントキャンペーンなどを行って、フォロワー数の獲得に努めた。

特に、最近のユーザーは画像や動画嗜好が高まる傾向にあるため、人気の SNS アプリである小紅書(RED)を9月に開設して毎月1回程度の動画投稿で運用を開始した。

【情報発信活動実績】

内 容	件 数	備 考
事務所ウェブサイト更新	13	
微博(Weibo)更新数	274	
微信(Wechat)更新数	14	
小紅書(RED)更新数	12	
ウェブサイトアクセス数	5,686	年間合計
微博(Weibo)ファン数(人)	58,002	前年比 -69
微信(Wechat)ファン数(人)	10,144	前年比 +81
小紅書(RED)ファン数(人)	149	2024年9月開設
その他情報発信回数	—	
マスメディア等への露出回数	5	上海 TV、東方衛星 TV

4 観光誘客（インバウンド）の推進

（１）現状（JNT0 上海事務所調べ）

- ・ 2024 年の中国の海外旅行者数は、前年比 400%の増加となり、国際航空便の旅客数は 2019 年水準近くまで回復しており、多数の国と地域による査証免除政策が増加を後押ししている。
- ・ 47%が個人旅行で、日本を含む東南アジア各国、フランス、イタリア、イギリスが人気となっている。
- ・ 旅行目的は、休暇を利用したリラクゼーションが主流で、次いで家族旅行、文化体験、贅沢品の購入、海外医療、不動産購入と投資等。
- ・ 旅行者の予算は 31.6%が 30,000～40,000 元、30.9%は 40,000 元超。旅行の同行者では、52.4%がパートナー旅行、子連れ 30.4%、親を連れて 30.3%、友人 24.8%、同僚 12.0%、一人旅 10.0%。
- ・ 年齢と性別では、62%が男性で、35－54 歳が主力層。26%が一線都市、38%が二線都市に居住している。
- ・ 76.2%が大学卒業レベルで、49%が仕事をしており、20%が企業オーナー或いは高い役職。62%が個人月収 20,000 元を超える。
- ・ 70.7%が向こう 1 年以内に海外旅行を計画し、80%以上が 2 回或いは 2 回以上計画している。

（２）具体的な業務内容

JNT0 上海事務所長との意見交換等を通じて中国市場の最新のトレンドの把握に努めたほか、中国市場で大半を占める個人旅行（FIT）形態に合わせて、オンライン旅行社最大手の Trip.com Group（携程集団）との意見交換を行うなどの情報収集に務めた。

また、各種 SNS（微博（Weibo）や微信（Wechat）、小紅書（RED））を運営して FIT をターゲットにした情報発信に取り組んだほか、JNT0 や CLAIR 主催の旅行博等に出展して観光 PR を行うとともに、SNS との連動で効果的な PR を行った。

【意見交換等】

- 5 月 7 日：JNT0 上海事務所を訪問して所長との意見交換を実施。
- 5 月 16 日：情報発信内容の強化と観光情報の共有のため県担当課（観光魅力創出課）とオンライン打合せを実施。
- 6 月 11 日：㈱NOVARCA（日本広告代理店）が来所して SNS 運営や情報発信手法について意見交換等を実施。
- 6 月 14 日：上海広告事業者の清水(上海)貿易(有)が来所。情報交換を実施。
- 7 月 8 日：Trip.com Group（携程集団）が来所して意見交換を実施。
- 8 月 21 日：春秋航空主催の意見交換会に参加。
- 2 月 21 日：東急商務コンサルティング(有)が来所。各種プロモーションや観光レップサービス等について情報交換を実施。

【出展・参加】

- 4月13日・14日：上海市内開催「桜まつり」に出展して観光PRを実施。
- 5月28日：JNT0上海事務所主催「第1回上海VJ推進会議」に出席。R6年度のVJ事業概要や旅行博等出展事業スケジュールの情報収集を実施。
- 8月6日：上海TV番組「都道府県所長CALL」スタジオ収録・観光PR等を実施（8月18日放送）。
- 9月12日-15日：広東国際旅游産業博覧会（CITIE2024）CLAIR北京事務所ブースに出展（群馬県観光物産国際協会と合同）して観光PRを実施。
- 12月7日-8日：JNT0北京事務所主催「西安市におけるBtoCイベント」に出展して観光PRを実施。
- 1月15日：JNT0上海事務所主催「第2回上海VJ推進会」に出席。2025年度事業計画の説明・意見交換等を実施。
- 3月13日：在重慶日本国総領事館主催「成都新春祝賀レセプション」に参加・出展して観光PRを実施。
- 3月28日：上海市甘泉外国語中学主催「桜まつり」に出展して観光PRを実施。



（3）今後に向けた課題と方策

個人旅行者の割合が高く、旅行の手配形態もSNS等を活用したネットからのオンライン予約が主流となっているため、Trip.com Group（携程集団）などの人気があるオンライン旅行社と連携したプロモーションの検討とSNSを活用した画像や動画配信による情報発信が主要なアプローチ手段となる。

5 県産品販路拡大

（1）現状

ネットショッピングの普及に伴い、電子商取引プラットフォームやSNSを活用したマーケティングが重要になっている。商品の特徴やメリットを紹介する動画や画像を制作し、電子商取引プラットフォームの店舗ページやSNSアカウントで公開し、キャンペーン等を通じて、商品の検索順位を上げて知名度を高めることが有効とされている。

また、JETRO上海事務所では、オンラインとオフラインを組み合わせたプロモーションを推進しており、特に食品類では展示会や見本市に出展して商品の試食や試飲などを行ったり、実際の店舗とコラボしたキャンペーンなどを実施している。

(2) 具体的な業務内容

群馬県の商品関連商品については、現在も輸入禁止措置の対象となっており措置解除の見通しが立っていない。そのため、高崎だるまなどの伝統工芸品によるプロモーションや販路拡大に努めた。

■CLAIR 北京事務所主催事業「工芸品を通じた日本の魅力発信事業」への出展

1月20日(月)から26日(日)に北京市内の蔦屋書店で開催されたCLAIR 北京事務所主催「工芸品を通じた日本の魅力発信事業」に高崎だるまを出展。25日(土)・26日(日)には、群馬県から今井だるま店 NAYA 代表取締役社長 今井裕久氏を招聘して絵付けパフォーマンスを披露したほか、参加者による絵付け体験やプレゼント抽選などを行って会場を盛り上げた。今井氏による絵付けパフォーマンスが始まると多くの人が集まり、絵付けの様子を真剣に見入っていた。

小紅書(RED)には参加者の高評価のコメントがいくつも投稿されたほか、今回のイベントで連携した高崎だるまの販売先には購入の問合せが入るなど、一定の結果を出すことが出来た。また、主催者のCLAIR 北京事務所からも今井氏のパフォーマンスは最高だったとの評価をいただいた。



■輸入事業者との交流

12月10日に蘇州嵐山貿易有限公司を訪問。日本酒等の輸入販売を行う尹航 総経理と面会して情報交換等を行った。

【面談概要】

- ・最近の中国国内の経済状況から酒類の販売額は大幅に減少しており、特に、ウイスキーや一部の日本酒などの高級品の価格の下落幅は大きい。
- ・比較的安価な焼酎なども1本当たりの利益が薄いため小売店側が余り積極的に取扱いたがらないため売上が伸びない傾向にある。
- ・最近では日本の国税局からの依頼で中国の卸売業者等を対象にした説明会等で日本の酒類の輸入状況や手続き等に関する説明などを行っている。
- ・現在のところ1都10県の酒類の輸入規制の緩和などの情報はないが、準備が必要な時期が来れば、中国輸出に関心のある事業者向けに説明会を開くなどの支援も出来るので相談して欲しい。

■活動状況等

4月16日：桐生織の商品販売等を行う(株)ヨシマルの吉川代表取締役が来所して情報交換を実施。

- 5 月 17 日：卯三郎こけしとのオンラインミーティングを実施（再掲）
 - ・JETRO 上海事務所から近代こけしのキャラクター商品の中国展開について問合せがあったため、卯三郎こけしの岡本副社長とオンラインで意見交換等を行って同社の意向を確認した。
- 5 月 22 日：中国向け越境 EC サイト「日本航空優選」を運営する日本航空㈱が来所して県産品に関する意見交換等を実施。
- 5 月 31 日：JETRO 上海事務所主催「2024 和酒峰会 JAPAN SAKE MONTH」視察。
- 10 月 9 日：高崎だるまの輸入を扱う北京京和資材商貿易(有) 松亭 董事長らと出展事業について打合せを実施。
- 10 月 21 日：桐生織の商品販売等を行う㈱ヨシマルの吉川代表取締役が来所して情報交換を実施。
- 11 月 7 日：「第 8 回中国国際輸入博覧会」視察。
- 11 月 11 日：在上海総領事館及び JETRO 上海事務所主催「中国上海農林水産物・食品輸出支援プラットフォーム情報交換会」主席。
- 12 月 10 日：蘇州嵐山貿易(有)を訪問して尹航 総経理と情報交換等を実施。
- 1 月 25 日-26 日：北京市内の蔦屋書店で開催された CLAIR 北京事務所主催「工芸品を通じた日本の魅力発信事業」に高崎だるまを出展。
- 2 月 21 日：JETRO 上海事務所主催「インバウンド地方消費促進プロジェクトオンライン説明会」出席。
- 3 月 20 日：駐上海総領事館で開催された新品焼酎展示会に参加。

(3) 今後に向けた課題と方策

群馬県の食品関連商品の輸入禁止措置は措置解除の見通しが立っていないため、工芸品による販路開拓を継続するほか、食品輸入事業者との交流を図りながら輸入再開に向けた情報収集と必要な準備を進めていく。

6 県内企業のビジネス展開支援

(1) 現状

群馬県の基幹産業である自動車関連産業に関しては、近年の中国市場の激しい競争や中国 EV 技術の急速な発展に伴い、競争力が低下している。加えて、ここ数年の中国国内の経済状況の悪化と食品関連商品の禁止措置などから、本県における製造業の新規進出案件はほぼなくなっている。

(2) 具体的な業務内容

群馬銀行上海駐在員事務所と合同で県内立地企業を訪問したほか、来所した県内企業等に対して、中国でのビジネス活動の概要や課題などについて意見交換を行った（3（1）再掲）。

(3) 今後に向けた課題と方策

現地でのネットワークを活用して交流を継続し、県内からの進出企業を定期的に訪問して情報収集及び意見交換等を行っていく。

事務所概要

名 称 日本公益財団法人群馬県産業支援機構上海代表处
(群馬県上海事務所)

所在地 〒200336
中華人民共和国上海市長寧区延安西路 2201 号
上海国際貿易中心 2410 室
TEL +86-21-5290-6218 / FAX +86-21-5290-6905
E-mail gunma.pref@gunmash.cn

職 員 3 名 (日本人 2 名、中国人 1 名)
所 長 富田 耕介
副所長 中野 亜希子
秘 書 鄒 艷苗